

# 子ども会を発展させるために

## 子どもにとって、遊びとは……………

子どもにとって、遊びは生活そのものである。それはクモやアリが巣作り（すづくり）をするのと同じ意味をもつ。また、乳幼時期の「ひとり遊び」から成長と共に「仲間遊び」へと遊びに変化があらわれてくる。



自然な遊び集団



集団の中からおきてやリーダーが生まれる。

遊びは子どもの生命でもある。しかし自然であるはずの遊びが現実には遊ばない。否、遊べない、遊びを知らない子どもがふえているといわれている。遊び集団がヨコ型、(例：同年代5年生だけの遊びの集団)に変化し一般化してくると次の時代への遊びの伝承がなくなり、遊びの種類も少なくなってしまう。

タテ型(異年齢)の遊びは年長者が大將となり下級生を引きつれて遊び、いままでの遊びを土台にして新しい遊びを創り出していく。この創造力が子どもにとって最も大事なことであり、タテ型にはこれが存在している。

現在の子どもの遊びを「ヨコ型」から「タテ型」にしていくのに子ども会は重要なカギを握っている。

遊びの条件… 「自由」と3つの「マ」

}	時間
	空間
	仲間

## “遊びばかりでは、ダメな子か”？

子どもの遊びには自由がある。今、夢中になってやっていたかと思うと、次のことを始めているという具合に、いやになればすぐやめてしまう。よく見ていると積極的にぶつかり合っている時、自分の全部をさらけ出しているのがわかる。これが遊びの力であり、子ども社会のエネルギーでもある。遊び仲間に入れてもらうには、その遊びを主唱した子の承認を受けなければならない。



また、時には遊び道具を持っている子の承認をうけなければ入れてもらえない。少しのルール無視は認められるが、あまりひどくなると仲間はずれにされてしまう。これが基本ルールである。

自分を全部さらけ出すということ —— それはその子の本性と見せているのである。この時期にこそ人生の親友（竹馬の友）が生まれるといわれるゆえんであろう。ニックネームがいつまでも適用するのだから……

## 子どもは大らかに豊かに育てよう

### 子ども会とは……

地域におけるタテの遊び仲間の

集団

これが子ども会組織の基本です。この意味から子ども会は独自のものであり決して学校の補助機関ではない。



#### A．構成年齢（子ども会員）

園児……………第1準備期…………… 兄や姉についていく。

小1・2年生……………第2準備期…………… ルール違反を平気でやるが上級生からは大目にみられる。いわばお客様扱い。

小3・4年生……………中堅期…………… まさに働きバチで善悪の判断ができ仲間意識が芽ばえる。

小5・6年生…………… 集団をまとめる…………… 親よりも友だちとの約束や誓いを優先。競争意識、仲間意識  
リーダー役

中学生……………第2期…………… 体の最大成長期。親友ができる。後輩の面倒をみる。  
(ジュニア・リーダー準備期)

#### B．育成会

地域の大人が子どもの遊びを認めてやることによって、その集団を育成し温かく見守ってやる大人の集団が必要となる。子ども会は連合組織であるといわれるゆえんでもある。



“あの子もこの子もみんなの子”

保護者だけにとどまらず地域全体に輪を広げよう。

### 子ども会のねらいと必要性

#### (A) ねらい(目標)

近年、団塊世代を境にして年々、子どもの出生率は低下しています。2人以下(1.39人)になり、核家族化が進みしかも遊ぶ時間も少なくなり、遊ぶ場所(自然環境)も昔と比べて非常に狭まってきたという社会情勢です。この現実は今の子どもたちに子ども同士のつき合いをいっそう稚掘にしているのではないだろうか？

## スバリ最大のねらいは

### 『子ども社会の復活』にある。

(1) 子ども時代は、特に自然の中でよく遊び、よく学ぶ時期でなければならない。

…………… (自然児として体験学習)

(2) 子ども時代の遊びは、人間形成の上で情緒や性格に影響を与えているといわれている。また子ども時代によく遊ばなかった子どもは、よい社会人に育たないともいわれる。

…………… (人づくり、社会性、情緒)

(3) 子どもの遊びは体力・気力を養い、知的学習の場ともなる。仲間遊びによって、人間関係を作り上げる。

…………… (忍耐力、機敏性、仲間づくり、協調)

(4) 地域を知り異年代の人たちと交流することによって地域づくりの潤滑油となる。

…………… (地域づくり、ふるさと作り)

(5) 遊びを伝承すると共に創り出していく…………… (創造性、自発性)

(B) 学びとるもの…………… 連帯性・協調性・責任感などを養い人間関係を学ぶ。



(1) 活動の役割分担のなかで、自分が何をどのように行動しなければならないか自覚して、自らその責任を果たすよう努力する。

(2) 遊びのルール、作ったり、変えたりしながら、自分の知的・体力的な能力を発揮したり挑戦したりする。



(3) 時には仲間と意見のくい違いを生じ、ケンカも起こるが遊び仲間が成立するのは自分の欲求をおさえ協調したり、再考したり、それらの大切さや方法を知る。

(4) 多くの体験学習から生活技術を身につけたり、自然とのかかわりを知ったり、身近なふるさとづくりとよい思い出を作り上げる。



(5) 自然を大切に、また水や火などを大切に使う習慣を身につける。

(6) 地域における子ども文化を創造しこれを継承し、創意工夫と豊かな情操を育てる。

### 子ども会の組織

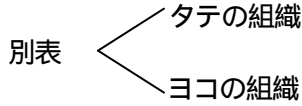
(1) 組織 = 「子どもの手による子どものための子ども会」の組織であること。自ら進んで活動できる組織であること。

a. 会員……………原則として義務教育在学中の子ども。地域によって小学生だけを対象としたり、未就学児を仲間に入れたりすることもある。しかし、活動内容によっては同一集団の中で行動が無理なこともある。

b. 小学校低学年の会員……………行事等に参加。

- c . 小学校高学年の会員……………活動の主体となり運営のインリーダー。
- d . 中学生会員……………役員・幹部として小さい子どもの世話をする。サブジュニア、ジュニア・リーダーとして活動する。
- e . 高校生、大学生、青年……………ジュニア・リーダー、青年リーダーとして活動。

(2) 組織づくりのポイント=円滑な機能をもった組織であり、会の規模に合わせ、また会員各々の特性を最大限生かすよう留意する。



子ども会員の意見や希望が会に反映できる仕組みであること。

会員としての自覚を高めるような構成が必要である。

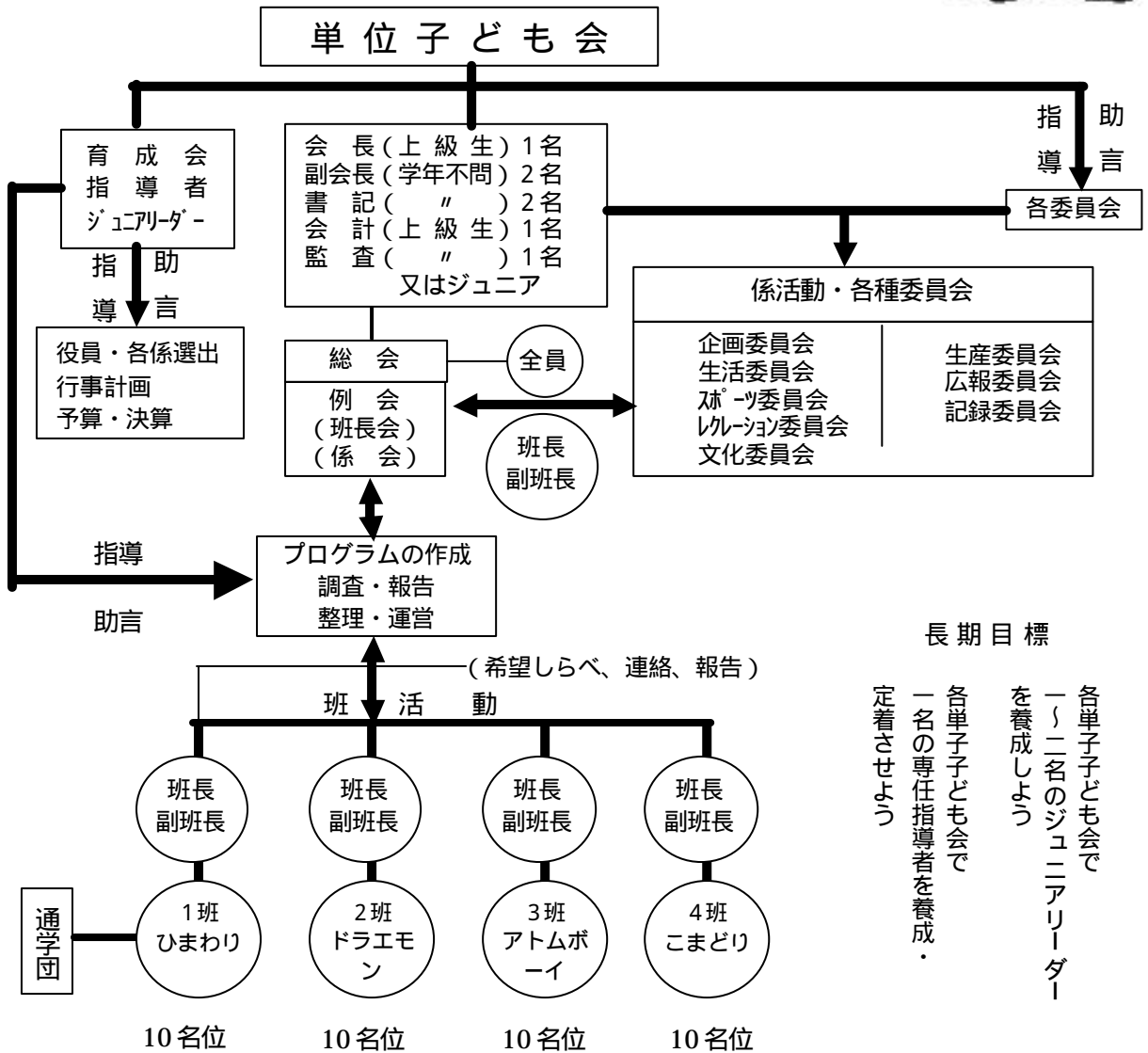
役員や係の選出方法・仕事分担をはっきりとしてみんなの会であることの認識を深めること。

地域ぐるみの子ども会として地域の協力や援助を受けられるようにする。

地域の実情や規模を考慮して組織化すること。



## “ 活動の充実・活性化は班活動から………… ”



### (3) 活動のすすめ方（タテ活動）

班とは単位子ども会の中の通学団を基礎にした数名～10名位の最少の近隣グループです。毎日顔を合わせますから連絡や相談など手早く実践できる利点があるわけです。かつての子どもたちは自然に集まって遊んだり、共通のおきてを作ったり、相談したり、リーダーを選び大人の手を借りずに行動していました。今でもこの程度の人数が自力で活動するには適当でまとまりやすいのです。



- a. まず班員を意図的に集める機会を作ってみよう。
- b. 班会議……いつでも開ける利点はあるが定期的に（例えば第2土曜とか）もった方がよい。

各班員の意見  
各班員のやりたいこと  
身の回りのこと  
行事の連絡や報告  
低学年にも簡単な役割をもたせる

} 班全体の意見としてとりまとめる

子ども会全体で行事をやるにしてもそれぞれの班が会議を開いて班の意見を集め班長会で情報を交換し、班長会での決定や話題を班にもち帰って報告したり相談をしたり、班活動の中心は班会議と遊びとなります。

はじめのうちは遊び半分の子もいて、まとまりませんが班長に助言をして班員に話し合いのルールをわからせる。

ゲームやソングを活用して楽しい小集会にする。

班のたまり場として気楽に使える会場を確保してやる。

集会の時間はあまり長くないよう……。

班の記録をつけるように当番制で受け持つ。

各班毎に育成指導者が担当している事がよい。

### C. 班行事の実例 子どもたちが必要な役割を決め自ら準備してやれるものを選ぶ。

誕生日会……カード作り

夕食会……（バーベキュー縁台）

ゲーム会……行事活動で演出するスタントの練習、出しものの仕上げ

西瓜割り

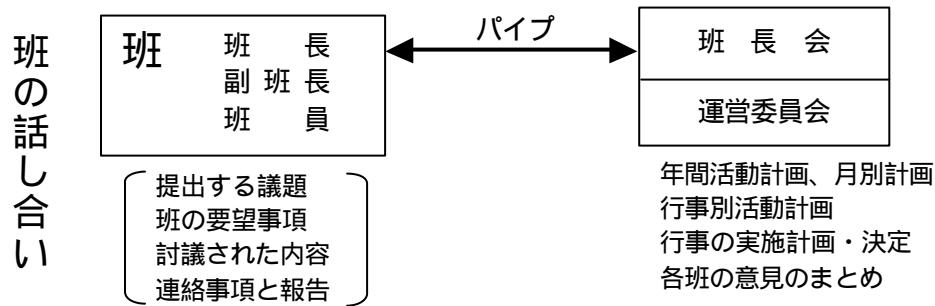
カルタ会

お月見会など



子どもたちが楽しみにして、自分たちでこなせるパーティーから実行してみよう。時には親子参加のプログラムを計画し地域への理解を深めると良い。招待状の書き方。行事によっては2コ班、3コ班合同の方法もある。





#### d . 子ども会年間計画と班活動

行事の精選……あまり行事が多すぎて班活動がふりまわされないよう、2ヶ月に1回ぐらいで、ゆきとどいた班と単子の疎通、過程を重視した活動を推進する。

班活動・班長・副班長の選出、必要な係分担

月毎のきまりや約束ごとを決め、実践できたか反省する。

班員の誕生祝いのつどい。

班員で楽しいゲーム・ソングなどレクリエーション活動。

単位行事のための相談、計画・準備について考え、弧として協力して行う。

身近な近所の人たちや家族ぐるみの催し物。

班長会や各種委員会などに班として提案することや要望事項、連絡事項の報告をする。

低学年も班では一人一役を……（班活動の中の係活動）

年齢、能力、経験、得意、知識などによって自分の持ち味を生かせる場を作ってやること。

子ども会の活動は班での日常的な係活動の経験が土台になる。従って1コ班～数コ班、愉快的活動を日常的に展開していればやたらに大勢集まる必要はない。



## 子ども会の運営 == (ヨコ活動)子どもたちの手で運営

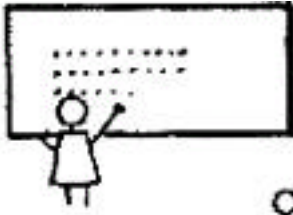
### 運営のポイント

- 会員に団体活動を通じていろいろのことを体験させ、一人ひとりの能力を伸ばすこと。一人一役は分担と適役。
- 子ども会全体を発展させること。
- 子どもの集団は、生きものであるから、会の動きを常に観察し、充実していく努力を怠らないこと。
- 他の子ども会と交流し、プログラムや行事等の情報を交換すること。
- 誰でもはじめからうまくはやれない、やれることからやらせてみよう。指導者は子どもの集団生活を見守るゆとりが必要だ。

## 運営の方法

### A 会員意識を持たせるために……

プログラム作成の参加と創意工夫



会費……子どもの小遣い銭で出せる程度の額。

班長が集金する方法が望ましい



意識と自主性

年度始めのチーム編成で相手に勝とうとして競争と協同の原理が生まれる。球技大会はこの点での役割をもっている。

年少リーダー研修会、ジュニア・リーダー研修会などに積極的に参加して会議の進め方プログラムのたて方、工夫、ゲーム、ソング等技術の習得をはかる。  
他の子ども会との情報を交換する。

### B 係活動・役員会（運営委員会）班長会

班活動がタテの機能を果たすのに比べ係活動はヨコの機能をもっている。

人員構成はそれぞれの規模、実情に合わせて配分すべきであるが、子どもの希望、特徴や適正をみて、適材適所に分担すれば効果は大であり、動きも活発になる。



（例）

第3日曜9時から10時半までとか、定例会として組み入れておくとよい。

ほとんど上級生で構成する組織委員会であるから、決まったことは正確に伝達し班員に周知徹底し必ず守るよう努力する。

### C 子どもが作る子ども会会則

内容は簡単でわかりやすいものとし指導者、育成者にも相談をする。

会則には、次のことを定めるとよい。

会の名称と事務所

会の目的

会員

会のしごと

役員

会議 ←

経費（会費等）

総会  
月例会  
グループ会議など

### D 経費

会費 子どもによる自主的な団体であるから経費は会費でまかなうことが原則である。

会費制にして、子どもたちが集金することにより会員意識を養うことができ、自主性を高める。

活動が計画的となり、金銭の収支についての知識、経験を得ることができる。

金額は……市子連資料によると

ひとり年額 1,000 円～3,000 円（月額平均約 150 円）が 80%を占めている。

（例）

町助成金………単位の町から頂く育成費で現状は地域によって非常に格差がある。

県市補助金………平成 14 年現在、1 単子当たり、基本額 12,000 円（条件により追加あり）

後援団体補助金……婦人会、PTA などから……町内単子の 6 年生の保護者から、

事業収入………資源回収、郵便局簡易保険手数料、遊具・遊園地管理奉仕料

その他………寄付金、祭礼祝儀

## F 記 録



子ども会での記録は会の進歩のバロメーターで反省の貴重な資料であるから必ず記録しておこう。

子ども会員名簿、出席記録、集会・行事記録、子ども会日記、出納帳

誰でも簡単にできる方法で………

（必要項目）日時、場所、参加者、人員、資材、内容、金銭。

当番制で様式も決めて記録用紙を作ること。

会議の記録係は持ち回りで気軽にみんなに体験させるとよい。

印刷物の整理・保存………行事の要項・回覧・新聞など 2 部、作成しておき 1 部は日付順にまとめ、他の一部は内容の種類別に保存しておくこと、後日資料として調べやすい。

活動アルバム………写真の記録は見るだけでも楽しくてわかりやすい。壁新聞や展示会にも活用できる。

ビデオ等による記録………撮影には手間、コストがかかりますが、見る楽しみも大きいです。また、楽しいだけでなく作業などの細かな手順を撮影するだけで記録しておけます。





## 活動内容 (A) 活動のいろいろ

### 社会的活動



- \* 社会的行事活動……ひなまつり、七夕まつり、クリスマス会、新年カルタ会、もちつき大会、(四季おっおりのもの) 書き初め、お祭り、地藏盆など
- \* 奉仕活動……道路清掃、空きカン拾い、歳末助け合い、資源回収、老人ホーム慰問、防火・防犯活動、小さな親切運動など
- \* 安全活動……現地下見会、交通安全教室、自転車教室、救急法など
- \* 社会活動……社会見学、郷土の研究、昔話を聞く会、盆踊りなど
- \* 生産活動……花だんづくり、子ども農園、野菜づくり、いも畑など
- \* 生活活動……金銭の使い方、あいさつ、きまり、エチケットなど
- \* 集会活動……総会、班長会、定例会、係・委員など

### 文化活動

- \* 芸能文化活動……歌、人形劇、音楽会、映画会、郷土芸能、紙芝居、ペープサート、史跡見学、文通など
- \* 創作活動……たこ作り、みこし作り、手作り楽器会、わら・竹細工、Yシャツ、鯉のぼり、木の葉のしおり、写生会、カルタなど
- \* 学習活動……星の観察、読書会、バード、ドングリウォッチング、自然観察、史跡めぐりなど
- \* お楽しみ活動……西瓜割り、花火大会、きもだめし、ゲーム、ソング、いも煮会、らくがき大会、みかん狩りなど

### 体育活動

- \* スポーツ活動……運動会、ソフト、フットベースボール、ドッジボール、サッカー、ラジオ体操、バドミントン、水泳、野球、フットベースなど
- \* 野外活動……キャンプ、ハイキング(追跡読図)、サイクリング、釣り、オリエンテーリング、ウォークラリー、アスレチック、野外炊飯など

### 広報活動…………… 子ども会新聞、カベ新聞、子ども会回覧など

- \* 調査活動……工場見学、街角リポート、郷土地図づくり、街角調査探検隊、町の数字集め、町のヘンなもの調べなど

## (B) 活動の形態



### 会議活動

プログラムの立案はまず話し合いからスタート。何のために、どのようにやるのか話し合っ決めて決めるのが班毎にも必要です。年間計画、定例会などすべて、行事の後は反省会で話し合うことが大切です。

### 行事活動

会員の仲間意識を育てたり、創造性や体力を育てたりするためにキャンプ、ハイキングなど各種の楽しい行事が行われます。これには計画、準備、実施、反省評価の経過そのものが重要で子どもにはこの機会にいろいろなことを体験的に学習します。

ふだんから日常活動や話しあい活動が充実に行われていることが豊かな行事活動のもとであるといえます。

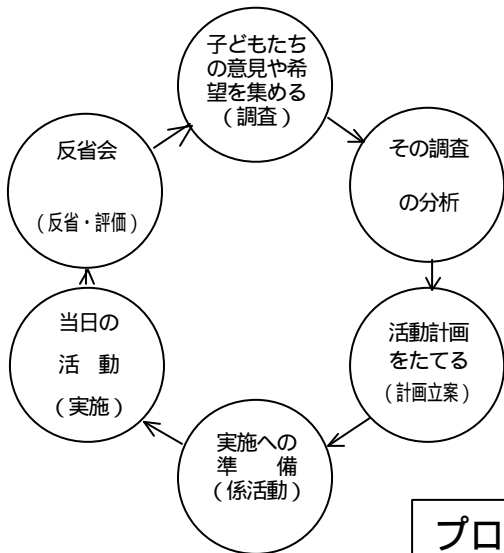
**日常活動**……ある目安を立てて継続的に行う活動  
 “あいさつをかわそう”を家庭や地域にも広げよう。夜ふかしせず何時には就寝しよう。とか交通ルールを守ろう。(とび出しはやめよう)。遊び場は自分たちできれいにしようなど。



(例)

(オアシス運動) お …………… おはよう  
 あ …………… ありがとう  
 し …………… しつれい  
 す …………… すみません

### (C) プログラムのたて方、工夫



計画を企てる前に子ども全員が、どのような希望をもっているか調べ、それを集計、分析し、企画、立案する。  
 係分担し準備作業  
 当日の実施  
 全体の反省

プログラムをたてる際、次のことに留意しましょう。

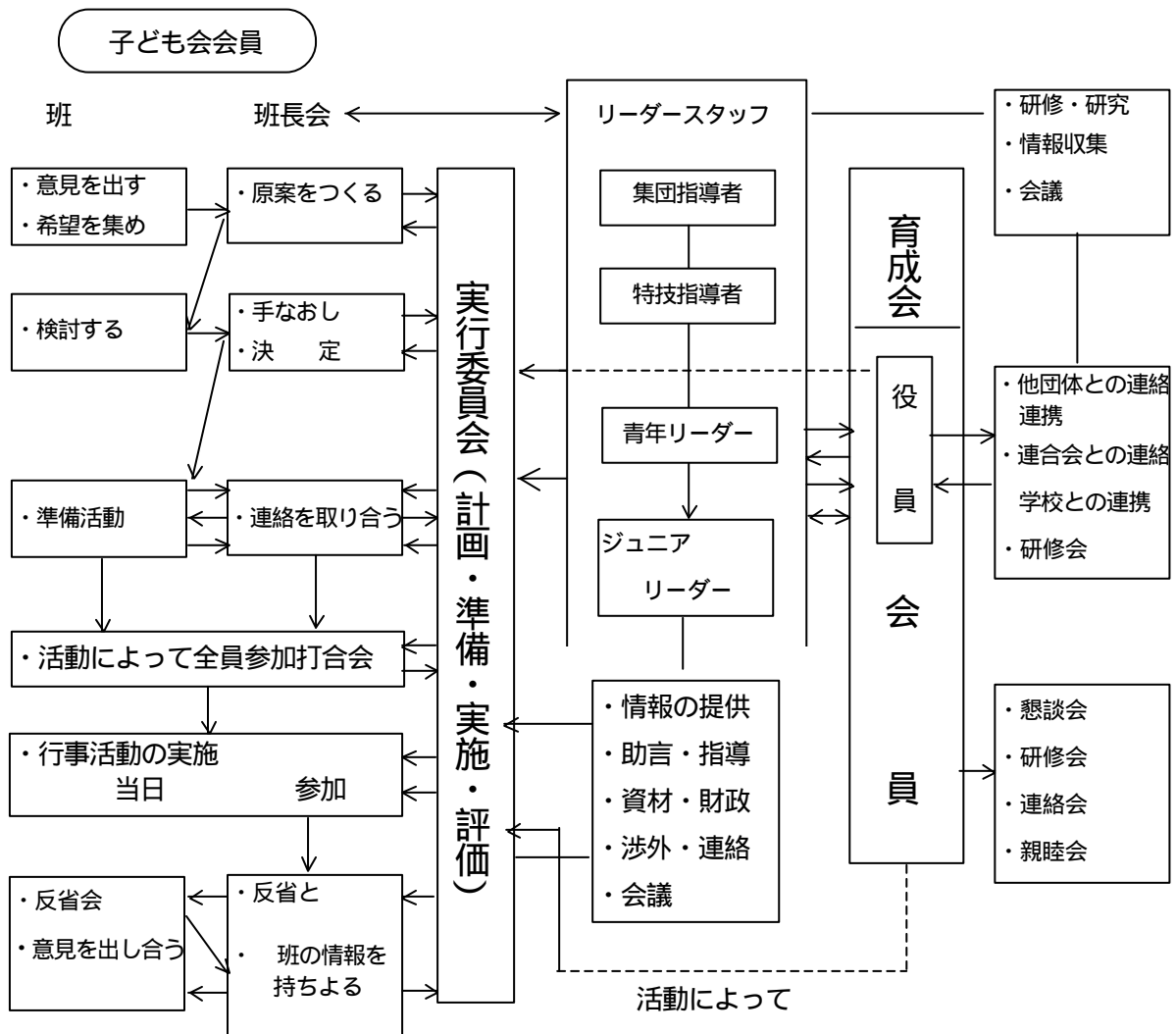
#### ポイント

- a 子どもの興味・関心を大切に、指導者の意向も加味して作り上げよう。
- b 目的をはっきりと………… 子どもたちも指導者も理解しておく。
- c 対象をはっきりと………… 全体を通して低学年向け、高学年向け、全員で取り組むものと、バランスをとろう。
- d 子ども自身の手によって創造されるもの。
- e タイミング………… 時期・季節に合わせて期日・時間
- f その他………… 経費(予算)、場所(施設)



子どもたち自身が考え出し自ら仕事を受け持ち、責任を持って果たしていくという体験こそが大切です。

## 活動の基本的な進行方法



**年間プログラム** = 年度始めに一年間の大まかな計画を……まずは、その年度の努力目標

を……昨年度の反省記録

(例)

目標「決めたことは

最後までやりぬく」

「思いやりの気持ち、みんな仲良く」

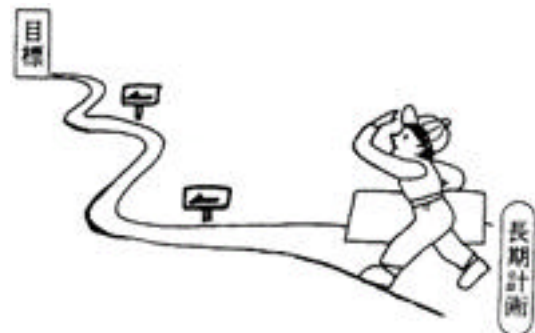
「今年は体力づくり」

「自然に親しむ」など

目標達成のために

いつ、何を、どのように実施するか？

活動内容の配列によって、それぞれの子ども会の特色がでてくる。しかし、子どもの力で実施できるには2～3ヶ月に1つの行事活動で精一杯ですね。先に述べた活動内容を組み合わせてみたら？



年間事業計画のなかには、役員会、班長会を定例的にどうもつか？

子ども会新聞の発行は年何回でいつ頃かなども書き込んでおく。

年中行事や町の行事などに関連づけたりして他団体と一緒にできるものはないか考える。

変化をもたせる。

### 月間プログラム

2～3ヶ月に一回の行事プログラムを月ごとに確認しておく。

前の月の下旬までにつくり、あらかじめ会員に配布しておく。

**行事プログラム** = 年間プログラムをもとに、月別にくわしく具体的に事業の展開を図る。

(内容)

何を……………行事名

いつ……………実施日時

どこで……………場所

誰が……………対象と参加予定人員

何のために……………行事の目的

どういうふうに……………行事の指導内容

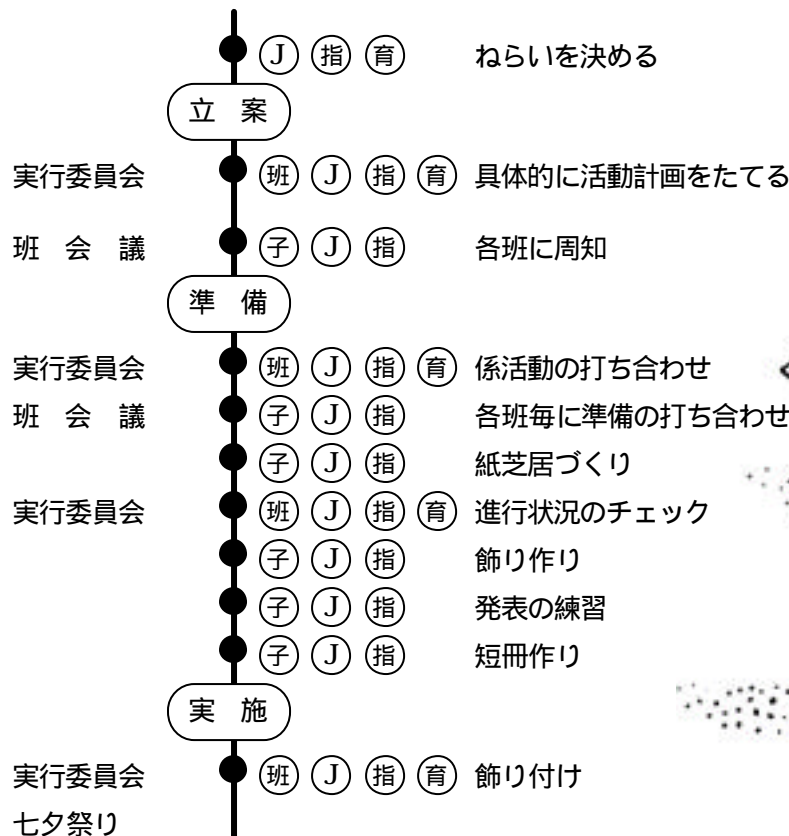
- ……………指導者の留意事項
- ……………行事の実施内容
- ……………実施日までの準備活動

(手法)

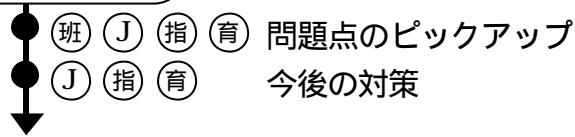
- ・ ジュニア・リーダーや班長が集まり、実施する活動の原案を立てる。
- ・ 各班長はその原案を各班に説明し班員の理解を得るように努める。
- ・ 班員の意見など取り入れ最終的に活動プログラムを決定する。
- ・ 指導者は指導プランをつくる。
- ・ ジュニアはジュニアなりの指導助言プランを指導者と相談して立てる。

その他

### 七夕まつり (行事別)



## 評価・まとめ



## 七夕まつり

活動のねらい…古くから文化として受けつがれて来た。

ゆかしい民俗行事を次の世代の子どもたちにも残して行けるように協力作業の中で話し合い研究して低学年にも童話の昔を与える。

子どもたちに七夕の意味を理解させ七夕の伝説を生んだ祖先の人々の心や生活の端にふれさせ興味をもたせる。

星や天文、宇宙への関心を高めさせるチャンスにしたい。

七夕の集いを楽しみ、互いに仲よく協力し、作る喜びを味わわせる。

ただ歌やゲームで終わるのではなく、子どもたちの心を星の世界に近づけ、美しい夢を育てる。

子どもたちのたくましい創造力や、ユニークな発想を地域の人々に知ってもらおう。

### 実行委員会設置（立案）

班長は子ども会定例会の議題「七夕まつりの集い」実施の報告をし、準備の打ち合わせに入る。

#### 準備の打ち合わせ

- ・ 実施の日時、会場の確保（室内・室外＝雨天の場合を考える）夜の場合は近所の環境を考える。終了後、各班員を家まで送る。
- ・ 必要な材料を書き出す。笹竹の本数／飾り付けの紙類（千代紙、和紙、広告のチラシ）白の木綿糸／針／はさみ／のり／ビニール紐など
- ・ 広報活動の方法と手順…回覧板／案内状／招待状／ポスター／会場内外の飾り付け／受付／入場方法
- ・ プログラムの内容／演出方法／司会進行／出し物

### 班で、係で（準備）

申込書は回収し、参加人員、学年別、男女別を確認。班の出し物を再検討して整理しておく、ジュニア・リーダーは練習をみてやる。飾り付けを作るときは、子どもたちのアイデアに任せる。



笹は水につけておく

折り紙で花、動物、くす玉、短冊を作る。

半紙を折りたたんで切れ目を入れてカラーズプレーで染め乾かしてから開くと長くつながり、トアミができる。

また、雲龍紙で作ったくす玉、ボタン灯籠などは紙質が柔らかいので軽く少しの風にもゆれて美しい。

短冊に願い事を書く、面白いことばの発想やユーモアの願い事が楽しみ。紙は広告紙の薄いものを選んで折ると変化があって面白く、物を大事にする事も話して聞かせておこう。班別の飾りのコンクールなどいかが。



紙芝居係は星の物語を絵にして創作し、練習しておく。

プログラムも出来上がり、本番前に係活動の進み具合をもう一度確認しておこう。

さあ七夕当日（実施）

プログラム	1時間40分
はじめのことば	副会長
あいさつ	会長
歌 七夕のうた	全員
ゲームあっち向いてほい	ジュニア
紙芝居「牽牛と織姫さま」	6年生
ゲーム ふくさん	5年生
お話 七夕の由来	町内のおばあちゃん
歌 子ども会のうた	全員
映画 夏の星空	おじさん
歌 1日のおわり	全員
おわりのことば	副会長

「七夕祭の集い」係活動

広報係…… 実施内容「お知らせ」を町内へ配布する。ポスターの募集と締め切りを記入しておく。会員のポスターを町内の目立つ所へ貼る。自分たちの手で運営する行事を多くの人に知ってもらう。

招待状係…… 画用紙1/4を2つに切り、カラーで書き上げ町内の役員、育成者の役員、日頃お世話になっている方々に持って行く。

飾り係…… 作った飾りは型をくずさないように大事にし前日笹につける。低学年には、短冊の付け方を教える。

笹の係…… 大笹と班別の笹に飾り付けが終わったら、会場の入口に大笹、班の場所に班の笹を立てる。

会場係…… 模造紙大のプログラムを貼ったり、飾りを巡らせたり机を並べたり、紙芝居の台、白い布、電気のスイッチ、カセットテープの確認。

司会進行係…… 楽しい雰囲気作り、プログラムの進行や間の取り方など当日、大変な役割、指導者の助言・援助も考えておく。

閉会の言葉係…… 最後の締めくくり役、ふさわしい言葉を用意しておく。

演出 会場に音楽を流す。会員が着いたら導入のゲームを簡単に。ゲームは次の出し物の、用意のつなぎに。

評価反省会

## 子ども会における指導者

(A) 指導者…… 会員の意志を団体の意志にまとめ、会員ならびに会の成長発展を助ける役割を担う人たち。

**指導** 子ども会は、会員の意志によって自主的に運営されるのが原則であるが、未熟な子どもの集まりで視野も狭く力の強い子によって専制的に支配される危険があるので、指導者が子どもの動きに対して方向を示し指導する事が必要である。その場合でも指導者は表面に立たないで間接的な立場に立っての指導が大切で、上から会員を引っ張っていくのではなく会員自身が又は、会自体が目的に沿って自ら動いていくような場面を作っていかなければならない。そうでないと会員を受身にさせ、自主的な活動を阻害することになる。

しかし、会員の年齢が小さいとか、会が発足して日の浅いうちは、大人の指導者がイニシアチブをしばらく取りながら会をリードする必要もある。

### **指導者の姿勢**（知識・技能・態度）と資質

会の目的・理念・方針・目標を明確に把握しておく。

指導者は相互に連絡を密にし、共通の理解をもつこと。

教えるという姿勢よりも共に学び共に成長するという謙虚な態度。

子ども会会員の要求を把握し、平行な目線で合槌をうち、聞き手上手の技能で接することが肝要である。

運営の技術を身につけておくこと。プログラムの企画力。

子どもを愛し、育てていく情熱をもっていること。

新しいニーズに対応するための自己研鑽につとめること。



### **指導者研修会等**

子ども会の指導者は、常に子ども会運営、技能の習得などの研修に心がけ、自ら向上する努力が大切である。また、指導者同士が横のつながりを持ち、活動に伴う資料や情報を交換しあい、お互いに協力することが重要である。

### **指導者の種類**

自分の能力や指導のできる限界をわきまえ、できるだけ指導の領域をみんなで分け合い、協力して指導にあたるのがよい。

集団指導者……プログラムを立てる時や、行事、会議に直接つきそい、会の指導助言にあたる（直接的指導者）たる。

総括的指導者……それぞれの役割をもった指導者がその分野で役割を果たしうよう助言（間接的指導者）を与えたり、指導者と育成会の連絡など総括的な立場から団体の運営にあたりたりする。

特技指導者……スポーツ・歌・ダンス・手品などの特技をもって指導にあたる。

**ジュニア・リーダー**……指導者及び育成者と会員との間にあって両者のかけ橋となるお兄さん・お姉さんで若さを生かして実際の指導・助言にあたる。

**必要性**……仲間意識が支配する5, 6年生、この時期の特徴は子ども達がなるだけ大人を避けて子ども達だけで行動することにある。

それは、子ども連の集団だけでやった方がハッキリと社会的自我の確立ができるからです。これは自然な子どもの欲求です。このような欲求を認識しつつ、ジュニア・リーダーとして育成していかなければならない。

**青年リーダー**……ジュニア・リーダーの良き相談相手として活動し、子ども会の実質的な指導者として指導にあたる。

## 子ども会育成者

**育成者**……………子ども会に対し物質的・精神的な援助を行い、子どもたちが自主的に活動できるよう側面から手をさしのべる人。

子ども会に理解をもち、子どもの健やかな成長発展を願う大人が後ろ盾となり、力を添えてやる必要がある。

しかも育成者は一部の大人だけでなく、その地域の親や多くの大人に仲間となってもらうことが大切である。

育成者は横のつながり（組織）をもち、協力し合うことが重要で組織化された育成会の手により効果のある育成活動をする。

### 育成者の役割

育成会は側面から子ども会を育成することが原則で直接的に指導にあたらない。

時には広い意味での指導的役割をもって子ども会に接触することもある。

- ・ 活動の場を確保すること。
- ・ 活動に必要な教材・教具を整える。
- ・ 財政の確立をはかること。
- ・ 指導者の発掘と養成につとめること。
- ・ 広報活動によって地域に根ざすこと。
- ・ 地域団体との協力が得られるようつとめること。
- ・ 地域社会の環境を良くしていく努力。
- ・ 安全対策をたてること。
- ・ 育成者同士のチームワームにつとめること。



### 土壌づくりの仕事

地域社会が子どもに対して、何をすべきかを理解し、この意識こそが子ども会が育つ土壌なのである。

そしてこの土壌づくりが育成する人たちの基本的な仕事である。

